

みらいを語る ふれあい懇談会

概要報告

(企画調整課 総合政策室 令和7年7月作成)

【第6次見附市総合計画 策定参考資料】



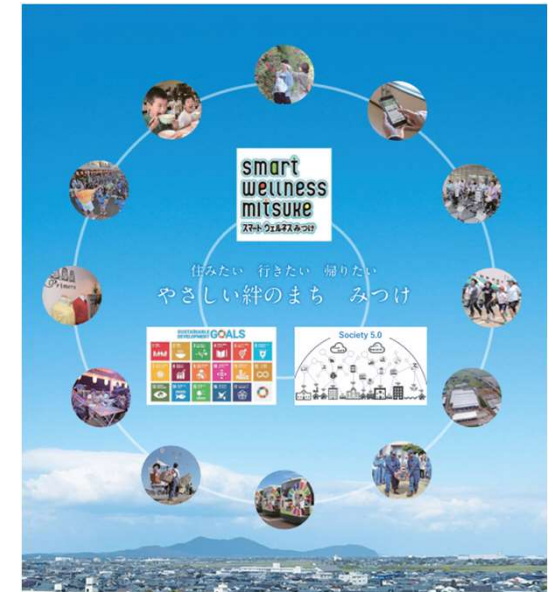
みらいを語るふれあい懇談会の目的・位置づけ

見附市では、2025年度（令和7年度）に「第5次見附市総合計画（後期基本計画）」の見直しを予定しています。
現在、見附市まちづくり総合審議会にて次期計画策定への議論が進められており、市民の声と、庁内各部署の参画により全庁体制で取り組んでいます。
このうち、市民参加の意見反映にあたっては

▶ 令和6年度に実施した「まちづくり市民アンケート」

▶ 本報告書にまとめる「**みらいを語るふれあい懇談会**」

の2つを主要な資料として、今後の総合計画づくりへの検討材料として活かしていきます。



第5次見附市総合計画

後期基本計画 令和3年度～令和7年度

見附市



「第5次見附市総合計画
後期基本計画」
(令和3年度～令和7年度)

「みらいを語るれあい懇談会」開催概要

延べ109名が参加！

- 見附市の将来について、世代・テーマ別に意見を交わすことを目的に、ワークショップ形式で開催しました。
- 第1～4回は、テーマに応じて対象年齢を設定し、該当する世代を中心に参加を募って実施しました。現状の満足度や影響度を確認しながら、「誰が（個人、地域・企業、行政）」、「どのように未来を作るか」について対話を行いました。
- 第5回は市民1,000人を無作為抽出し、幅広い世代の方へ参加を呼びかけました。これまでの意見を踏まえた上で、新たな視点についても意見交換を行いました。

第1回：「若者のみらいを考える」

5/17実施 21名参加

第2回：「産業のみらいを考える」

5/30実施 25名参加

第3回：「子育てのみらいを考える」

5/31実施 24名参加

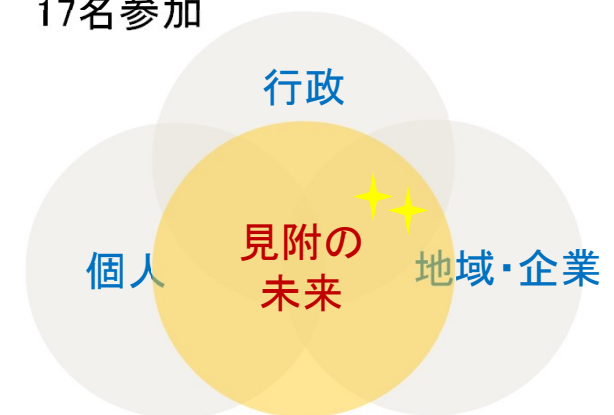
第4回：「健幸のみらいを考える」

7/4 実施 22名参加

第5回：「見附のみらいを考える」

7/5 実施 17名参加

第1～4回は希望制（手上げ方式）でテーマごとに対象年齢を設定して実施し、第5回は無作為抽出によって、普段参加しづらい市民の声を聞くことができました。2つの方法を組み合わせることで、多様な立場の市民意見を集める工夫を行いました。



第1回 「若者のみらいを考える」①

- 開催日: 令和7年5月17日(土)10時~12時
- 参加者: 21名(10~20代) (年代別に4グループで構成)
- ワークショップの流れ(1~4回共通)
 - ・前半は見附の現状を共有し、満足度や影響力の「ある点」と「少ない点」について意見を出し合い、模造紙にまとめた。
 - ・後半は未来に向けて魅力をどう高めていくか、「誰が・何をするのか」を話し合った。

前半の各班意見(見附の現状)【抜粋】

1班(高校生・社会人(10~20代)) 小規模校での教育環境と地域の進路・交流課題

●教育・進路指導／出会い・交流／医療／商業施設

私は小規模校の出身で、人数は少なかったものの、学校生活には非常に満足していました。ただし、進路指導に関しては、具体的な個別の対応が無かったなどの意見もあり、全体の講習会などの機会を設けても良いのではないか。進学先や就職先の選択肢も限られており、結果として市外へ出ることが多くなる。

また、職場内以外での出会いや交流の場も少なく、そういった機会の提供が望まれる。カフェなど少人数で集まれる場所には満足しているが、大型商業施設が無い部分の満足度は低い。さらに市内のかかりつけ医の高齢化にも不安を感じる。

※下線部分は複数の懇談会で共通して挙げられたキーワードです。

※太字部分は次期総合計画への参考としたいポイントとなります。(以下同様)



第1回 「若者のみらいを考える」②

前半の各班意見(見附の現状)【抜粋】

2班(10代 中学3年生) 学校施設の老朽化と安全面への懸念

●学校施設整備

学校の整備状況に課題を感じている。特にエアコンの整備状況や、トイレの修繕、さらに雨漏りによる転倒リスクなど不安を感じている。日常的に使う場所だからこそ早めに対応、修繕してほしい。

3班(10代 中学3年生) 地域イベントの充実に期待

●地域イベント／祭り／商業施設

地域によってお祭りやイベントの開催状況に差があり、楽しい行事が少ないという意見もあった。大きな商業施設がないことも、日常の娯楽や買い物の選択肢として課題である。

4班(10代 中学1.2年生) 楽しく過ごすための環境整備

●遊び場／公園／商店街／イベント／遊具

日常的に楽しく過ごせる環境が少ないと感じている。具体的に公園や、遊べる場所の充実、商店街の活性化や、商業施設の整備、魅力的な遊具の設置などを求める声もありました。全体的に満足度は低い状況。



第1回 「若者のみらいを考える」③

後半の各班意見(見附の未来に向けて誰が何をできるのか)

課題	個人	地域・企業	行政
就職・進路について	・塾・先輩からの情報収集 ・就職は県内で行い、見附に住みたい		・県内や、見附に残ってもらうために通学補助制度を検討してほしい
居場所について	・SNSで市内の美味しいもの（魅力的な情報）を発信したい	・地域でフェスを実施できないか	・行政からもSNSを活用した情報配信で出会いの場にもつながるのではないか
学習場所の充実	・どんな学習環境が欲しいのか友人とアイデア出しを行う	・（地域を学校に置き換え）長期休み中の図書室の開放	・新しく学習のできる施設を作してほしい
魅力的なイベントが少ない	・自分たちで計画して地域を巻き込んで実施ができないか。企画できる場を作る ・中学校同士で連携したイベントの実施	・大型商業施設が無いことに対し、商店街をモール化できないか	
地域・学校による学びの質の差			・生徒へのアンケート実施 ・教師を集めて、分かりやすい授業の進め方を話し合してほしい

第2回 「産業の未来を考える」①

- 開催日：令和7年5月30日（金）19時～21時
- 参加者：25名（30～60代）（年代別に5グループで構成）

前半の各班意見（見附の現状）【抜粋】

1班（30代）生活のしやすさと農業・立地の活用

●住環境／農業／地域資源

交通の便の良さ、景観の良さ、コンパクトで生活がしやすい部分の満足度が高い。
農業をブランド化し、魅力的に見せることで、まちづくりに活かせるのではないか。
見附は県内の中心に立地し、営業の拠点としても活用されていることから、そうしたニーズの広がりにも期待。

新しい店舗の開業は地域の活気にも繋がり、「田舎でも人が集まる場があれば人が来る」との意見も出た。

2班（30～40代）若者の働く場と支援のあり方

●雇用／子育て／企業

市内に大企業が少なく、若者が定着しないのではないかと。

働く場が少ないことで、若者向けの店舗も限られ、子育て世代にとっても、こどもの遊び場が少ないとの課題もあった。

起業支援に関しては「制度が分かりにくい」「スタートアップ支援が弱い」との意見もあった。

一方で、ミルクヨーカンなど地元商品への愛着や「見附の女性は綺麗」といった地域へのポジティブな声もあり、地域コミュニティのつながりを広げていくことも良いと思う。



第2回 「産業の未来を考える」②

前半の各班意見(見附の現状)【抜粋】

3班(40～50代) 住環境整備と専門人材の不在

●住宅／人材

市内の不動産業の衰退により、移住促進や住環境の整備が進みにくくなっているとの声があった。ウエルネスタウンの販売停滞についても、有資格者(土地家屋調査士など)の不足が影響している。農業分野では後継者不足、新たな販路開拓の難しさが課題に。ただし、「見附の活性化に貢献したい」という前向きな意見もあり、懇談会への期待が感じられた。

4班(30～50代) 暮らしやすさと地域資源の活用

●生活／医療／雇用

市街地と駅の距離が近く、商業施設も整っていて住みやすいという声が多く上がった。一方で地元の働く場が限られているのか、人材確保の面で課題も。医療面では、コロナ禍でのワクチン接種体制が評価される一方、市内クリニックの減少に不安を抱く声も出た。

5班(40～60代) まちの魅力の発信と課題への対応

●農業／人口／働き方

見附は魅力ある暮らしやすいまちだがその発信力に課題がある。農業では担い手不足や休耕田の増加が懸念され「何とかしたい」との声も。少子化による学校再編やインフラ整備は、市の将来に直結する重要な課題。誰もが主役になれるよう、シニアや女性の働き・活躍できる場づくり、需要と供給をつなぐマッチングの仕組みも必要。課題解決には積極的な挑戦が必要だと思う。



第2回 「産業の未来を考える」③

後半の各班意見(見附の未来に向けて誰が何をできるのか)

課題	個人	地域・企業	行政
商店街の活性化 (場づくり、コミュニティの拠点として)	・たくさん通うこと (商業目的以外にも交通量を増やす) ・商店街を歩くことで運動にもつながる	・BGMの工夫 ・学校を巻き込み商店街のBGMを放送部などが担う	
スタートアップ支援について	・起業を考えている人に紹介 ・起業したお店へ通う ・積極的に人と人が協力する	・相談場所の設置(気楽に起業について相談できる場所を行政以外で開催)	・セミナー後のフォローアップの充実 ・皆が繋がって応援できる体制
アピール、繋がり (農業、産業すべての分野で)	・見附にこだわった買い物、体験を行う	・地域・企業間のつながりを強化 (<u>健幸のまち</u>を軸に会社対抗ウォーキングキャンペーンの実施など) ・楽しみながら健康になる視点は新たな産業の繋がりを生むのではないかな	・繋がりを活かし、対外的な発信や広告の強化
関係人口の増加	・推しのTikTokの影響が強く、旅行の動機になる ・SNSなど様々な媒体で魅力を発信する	・企業は個人のSNS配信を禁止しないでほしい ・地域も撮影、配信者に寛容になってほしい	・個人、企業の取り組みを推進、宣伝 ・バーチャルオフィス設置の支援
農業活性化	・地産地消 ・生産者もアピールが必要	・飲食店などでの見附産農産物の活用・加工	・個人・企業の取り組みの情報発信 ・担い手、休耕田活用などのマッチング ・情報発信の充実化(いろんな面で)

第3回 「子育ての未来を考える」①

- 開催日：令和7年5月31日(土)10時～12時
- 参加者：24名(20～50代) (年代別に5グループで構成)

前半の各班意見(見附の現状)【抜粋】

1班(20～30代) 転入者の視点から見た魅力と課題

- 住環境／子育て／高齢福祉
土地が安く、高速道路やスーパーも近く、転入しやすい。
子育てでは、雨の日でも遊べる幼児向け施設が足りない。
高齢者の移動手段や、居場所づくりも今後の課題。
食事の面でも、こども向けのお店がもっと増えればよい。

2班(30～40代) 未来に向けた視点からの課題整理

- 子育て／医療／行政
「満足度が低い＝不満」ではなく、将来に備えて改善が必要という視点で意見をだした。人口減少、少子化による税収減や、サービス縮小の懸念や小児科医院の少なさ、産後支援の不足も課題に挙がった。



第3回 「子育ての未来を考える」②

前半の各班意見(見附の現状)【抜粋】

3班(40代) 地域の偏りにも目を向けて

●こども／交通

中心地に施設が集中し、郊外のこども達の居場所が少ない。交通手段も限られており、通うこと自体が困難。小学4年生以降の放課後児童クラブが不足しているため、特に夏休みはこどもが家にこもりがちになる。県立高校は市内に1校。大学も無いなど進学時の通学手段の課題もある。中学部活の地域移行にも不安を感じている。一方で、プレイラボ、健幸ポイント、地場産業など良い取り組みもあり見附に住み続けたいという声もあった。

4班(40～50代) 生活やすさと教育面の課題

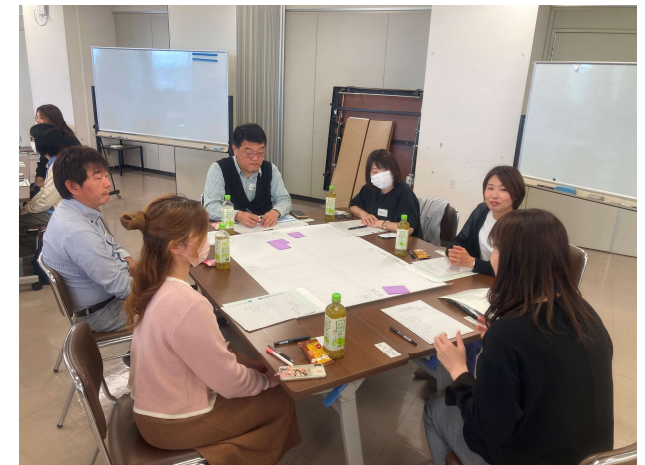
●教育／まちづくり

地価の安さや生活施設の集積、保育園の充実など、暮らしやすさに満足している声が多い。ただ、プレイラボなどの遊び場はあるものの、対象年齢や使い方に課題。不登校支援、通学路の安全、放課後児童クラブの充実など、教育面では課題も残る。見附駅前の寂しさや国道8号を挟んだ地域差にも注目。一体的な開発や地元人材の活用も期待される。

5班(30～50代) こどもを中心とした支援を

●子育て／教育

住むには土地が安く、のんびりして良いという意見があった一方でこどもに関する支援の声が多い。不登校のこどもへの昼食支援、親が集える場の必要性、親子で遊べる場所の復活を望む声も。部活動はこどもが少なく、団体競技が難しい。コーチ集めも課題。進学時の通学手段(越後交通の減便)やこども達が成長後、見附に住み続けられるのかという不安の声もあった。



第3回 「子育ての未来を考える」③

後半の各班意見(見附の未来に向けて誰が何をできるのか)

課題	個人	地域・企業	行政
住みやすさの <u>対外発信</u>	・見附のインスタなどフォローしていきたい ・自分もSNSにアップしたい	・SNS配信でクーポン（サービス）の提供	・個人・企業の取り組み支援 ・ネットイベント、見附が拡散されるようなイベント
こどもの数を増やしたい	・両親が仲良く ・コミュニケーションの場への参加 ・情報を自分が取りに行く	・コミュニケーションの場を作る（定期開催） ・在宅業務の支援（父親が家にいる環境）	・究極のベッタウン化 ・産婦人科の設置
こどもの移動支援	・保護者同士で休みを調整し送迎のフォローを行う ・実際に休日など輪番で行っているが調整が難しい（事故時の責任も課題）	・送迎時などに対応したに30分単位での時間休取得 ・こどもに優しい企業としてPR	・コミュニティワゴンの柔軟な運行
学校ボランティアの地域差	・ボランティア増えることで先生の負担軽減、地域も元気になる ・高齢者も積極的に参加	・企業、<u>地域コミュニティ</u>へも依頼し全体で関わってもらう	・学区ごとではなく全市で呼びかける仕組みを作してほしい。特に1回目の呼びかけは個人や企業では難しい
こども達との関り	・こどもへの積極的な声掛け（現状では不審者扱いされてしまう）	・顔の見える関係を構築するため、<u>コミュニティ活動</u>への積極的な参加 ・こどもの悩みが相談できる地域との関係性	・不登校の保護者たちのネットワーク、ミーティングの場の情報発信（団体はNPO化） ・受け入れやすい環境を作してほしい

第4回 「健幸の未来を考える」①

- 開催日：令和7年7月4日（金）19時～21時
- 参加者：22名（50～80代）（年代別に5グループで構成）

前半の各班意見（見附の現状）

1班（50～60代）自然・健康と世代間交流の可能性

●住環境／交流／教育

「この年代になると自然や空気の良さに魅力を感じる。健康への関心も高い」という声があり、自然環境が見附の強みであると改めて実感した。

一方で若い世代は、自然の良さに気づきにくく、世代間交流を通じて価値を伝えていく場が必要との意見も。

また、人口減少による小中学校の将来への懸念も共有され、「見附の歴史や魅力をきちんと次世代に伝える努力が大切」という声もあった。地域コミュニティの自立に対する評価も高く、こうした交流の土台を活かしたPRが必要。

2班（60～70代）健康・コミュニティの充実と持続性

●地域活動／公共サービス／施設

イングリッシュガーデンや大平森林公園など、自然環境への満足度が高い。健康運動教室など市の健康施策も評価する。

「地域コミュニティへの期待と依存が高まっている」との発言もあり、子供会や育成会が縮小する中での代替機能の担い手としてコミュニティ会長同士の連携が進んでいる。一方、スタッフ不足、校区再編は地域包括支援センター分割による混乱の再来、公共施設の老朽化などの懸念もある。また三条、燕地域と比較し、見附のPRが弱い、北谷南部地区へもコミバスの延伸など地域内外への対応を強化してほしいとの意見が出た。



第4回 「健幸の未来を考える」②

前半の各班意見(見附の現状)【抜粋】

3班(70代) 移住支援・公共サービスと暮らしの質

●人口対策／公共施設／交通

「全国で移住対策が進むが、お金のある自治体が勝つだけ」という意見もあった。見附では散歩空間、公園の整備(東屋)不足、市立病院の対応の悪さなど挙げられた。また、農村部においても近所付き合いの希薄化が進んでいる。年を重ねると外出しづらくなるため、公共交通機関の希薄な地域へはコミュニティバスの延伸を求める意見も出た。

4班(70～80代) 交流と人口構成の変化への対応

●地域活性／就労／中高年層

働く場所や交流の機会の少なさに不満の声が出た。「中高年層が人口の1/3を占めるのに活躍の場がない」「女性は積極的だが、男性は消極的」との指摘もあり、世代、性別を超えた交流の必要性が語られた。「新潟県のへそ」としての位置づけや地域資源を活かした将来像の提案も必要。田畑の継承が進まず、独居高齢者の健康問題も懸念される中、「地域のこどもと中高年の交流を深めることでまちの活性化は可能」という前向きな意見もあった。

5班(80代) コンパクトな地の利と人との距離の近さ

●都市構造／行政／文化

「見附市はコンパクトで移動しやすく、職員や市長との距離も近い」との声が多数あり、市民の意見が反映されやすい土壌や小回りの利く行政運営を評価。特に工業団地の整備や地の利の良さは将来の発展へも期待される。人口規模38,000人の人情味ある交流とマッチする。また「市民には多くの人材がいる。文化向上などに活かしてほしい」との提案もあった。一方でスマホ相談教室の開催回数減少に伴う意見など、細やかなニーズへの配慮もしてほしい。



第4回 「健幸の未来を考える」③

後半の各班意見(見附の未来に向けて誰が何をできるのか)

課題	個人	地域・企業	行政
自然を活かした定住促進	・文化施設、公園や身の回りの自然をもっと <u>SNSを活用し発信する。</u>	・コロナ禍以降衰退した地域間の交流の復興 ・昭和レトロの商店街の活用、工業団地の再評価を市内外へ発信 ・地場産業（ニット、繊維、農業）の紹介 ・ <u>見附の良さをアピールする</u> （燕、三条のように）	・ 市民との更なる連携強化 ・公民館職員が減少したが、 地域との繋がり は途絶えさせないでほしい
<u>地域コミュニティ</u>	・コミュニティへの参加を若い人にも呼び掛ける	・見附ニットは五泉にも負けているので何か中心になるものを作ってほしい。 ・CMの作成	・自分たちの世代は既にネット中心のため、 情報配信のデジタル化 を更に進めてほしい
<u>地域コミュニティ</u>	・自分でできる小さなことから協力し、地域を盛り上げていく	・工業団地の企業活動内容を市民にPRする（見学会の実施など） ・ <u>地域イベント（クリーン作戦）への参加</u>	・コミュニティ運営への更なる理解と支援サポート（経費部分含め）
人と地域の繋がり活性化	・自分からの <u>挨拶</u> 、勇気を持つ ・隣近所への関心、顔が見える関係の構築	・ 地域行事への参加 （スポンサー的位置づけ） ・集まれる場所の提供	・IT化はあまり拙速に進めないでほしい ・回覧板文化も重要 ・サロンには女性が多く、男性が参加しやすくなるシステムもあってもよいのでは
人の輪、地域の輪	（交流を広げていくために） ・自分ができる足元からの行動を行う ・家から一歩飛び出してみる ・ボランティアへの参加	・中部産業団地は大きな魅力 ・働く場所があることで経済が動く	・コミュニティにも差ができていますため調整が必要 ・ 学校との連携 も積極的にしてほしい ・三条市のような <u>アピールを</u> ・企業見学会の実施

第5回 「見附のみらいを考える」①

- 開催日: 令和7年7月5日(土)10時~12時
- 参加者: 17名(30~70代) (年代別に5グループで構成)
- ワークショップの流れ(総括会として実施)
これまでの1~4回の懇談会意見を確認したうえで、新たな課題出し、未来に向けての役割を確認

各班意見【抜粋】

1班(50~60代) まちの魅力と将来への提案

●まちづくり／経済／福祉

「見附市への要望」をテーマにまちの魅力づくりや持続性が語られた。「これからは何で儲けるのかを明確にしヒト・モノ・カネを集める必要がある」との指摘があり、同規模自治体を参考にした戦略的展開を求める声があった。

高齢化や障がい者への配慮、企業や他地域とのイベントも期待され、「SNSを活用した配信」や「コスプレイベント」などの尖った魅力づくりが必要。

2班(60~70代) がん患者支援と地域資源の活用

●健康・福祉／産業

がん患者支援の必要性が語られ、「ウィッグ補助の導入に自分が関わった」との実体験も共有された。以前は市内企業がニット帽を制作していたが、現在は衰退しており、「地域資源を活用した再開を望む」との意見が出た。また、「がん患者数の把握」「心の拠り所となる場所づくり」など更なる市への積極的な関与を期待したい。



第5回 「見附の未来を考える」②

各班意見【抜粋】

3班(30～40代) 空き家活用とこどもの居場所づくり

●移住促進／子育て

空き家問題を逆手に取り、リノベーションの勉強会などで企業と連携し移住促進へ。物件の安価提供で地域への愛着も生じる。
プレイラボみつけをもっと活用するため、交通手段の確保を。学校や企業の車両を使った送迎など、民間との協力も期待。

4班(60～70代) 空地、空き家の再活用と話し合いの場の整備

●まちづくり／地域活性

商店街にも空き物件が増える一方、イベントの場が不足。地域や企業、市民の声を反映した活用が必要。行政には「意見をまとめ、実行に移す場」の整備が求められている。話し合いが生まれる仕掛けづくりを。

5班(50～60代) 孫育て視点での支援体制強化

●教育／福祉

保育所や放課後児童クラブへの支援、連携を行政に望む声。特に放課後児童クラブの対象年齢(現状:小3まで)の拡充を希望。湯沢学園は保小中一貫で地域との連携も参考になる。囲炉裏的な居場所に高齢者が関わる形も良いのではないかな。



参加者の声（アンケートより）

※アンケート内容は原文のまま掲載しています。

第1回 「若者のみらいを考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
20代	男性	看護師	他職種、地元民、学生と様々な視点から意見を聞くことが出来て充実していた。見附のことを知らなすぎて話になかなかついていけなかったことが残念だった。	低コストでできることから試しに実践してもらいたい (食フェスあったら参加したい)
10代	女性	中学生	他人に任せるだけでなく、自分でできることを探して行動することが、大切だと分かりました。普段関わりのない人と関わってとても楽しかったです。	それぞれの年齢に分けて情報発信の仕方を変えたりすると良いとおもいました。
20代	女性	大学生	同世代の市民の皆さんが思っていることを共有でき、とても有意義な時間となりました。また、私が多くの時間を過ごした中学校時代より変わった点も多かったことに気づいた。	小中学校の再配置について深く議論してほしい。また、若者の移住支援についても取りこんでほしい。
10代	女性	高校生	あまり考えたことがなかった内容でしたが、話し合い思考することでたくさんの意見が出て、さまざまな考え方を学ぶことができました。	遊び場やファミレスを増やしてほしいです。
10代	女性	中学生	見附市のいい所ややってほしいところをいろんな人と意見を出しながら楽しくできてよかったし、この機会にいろいろよりよい市にしてほしいと思いました。	意見をもとに、みんなが楽しくじゅう実して過ごせるように、いいことも活かしながらやってほしいです。
10代	男性	中学生	今日の話し合いを通して自分も見附もこれから変わることができたらいいなと思います。今の見附の課題や良いところなどが知れて良かったです。	いろいろな人からの意見を聞いたりそれをどう取り入れていくかなどを考えてほしいです。
10代	女性	中学校	見附の未来についてしっかり考えることができたのでよかった。色々な人の話をきいて、「こうして生きたい！」という未来のために、今、私たちにできることがたくさんあるなと思った。自分から、見附の活動などに関わっていきたいと思った。	SNSをもっと活用すること。そしてそれをもっとしてもらおうこと。 遊び場とかごらくしせつがほしい！
10代	-	中学校	見附の中でも知らないことがたくさんあった。自分から見附を知ろうという気がなかったことに気付いた。もっと自分から地域に関わっていこうと思った。	SNSの活用 小中学生に見附の良いところをきちんと伝える。上京しても子育てするなら見附がいいと思ってもらえる幼少期を過ごせるようなかんきょうを作る。
10代	女性	高校生	今回の懇談会で見附のいい所、わるい所を深く知ることができたとともに、自分のこととして考えていきたいと思いました。	商業施設か飲食店をつくってほしいです。(特にサイゼリヤがいいです)

第1回 「若者のみらいを考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
10代	男性	中学生	個人だけで出来ることは少なく、地域や行政の人たちと協力することが大切だと思いました。	20～24さいの人が見附市から出ていくのは、働く場所が少ないのが原因だと思うので、そこをなんとかしてほしいです。
10代	女性	中学性	まだまだ見附には課題があるとふせんに書いて気付いたので、第2部で考えた「個人としてできること」を取り組めていけたらいいなと思いました。	学校の整備について考えてくれたらうれしいです。あとはもっといろんなしせつをつくってくれたらうれしいです。
10代	男性	中学生	みんなの住んでいる地域や立場があり、その中でみんな違うようばうやよいところなどがあり、実際によりよくするにはどのようなことをするといいいのかなとたくさん考えることができてよかったです。	どのような世代でも楽しめるような地域やしせつ 動物とふれあえたり、みんなで学びあえたりする場所
10代	女性	中学生	いろんな考えや悩みなどをもっている人がいたことに気付きました。参加できてよかったです!!	お金かかるけど、遊べる場所や勉強できるしせつを増やしてほしいです!
10代	女性	中学生	見附市は住みやすい街だと改めて思いました。でも満足しきれていない部分もいくつかあることがわかりました。	消雪パイプの勢いが良すぎて服に水がかかる事が多々あるので直してほしい。
20代	男性	建設業	いろんな方の考えや意見が聞けてよかった。いろんな視点での話が聞けて自分の考えが広まった。	施設や子育てについて
20代	男性	建設業	ひとりで考えないでグループワークをすることで、ひとりでは考えられないなやみ、かいぜんてんを出し合えた。	子どもたちの居場所!!学校せいび。べんきょうの場、こうりゅうの場、遊びの場をふやし、たのしい見附にしていけたらいいと思う。
10代	女性	中学生	いろいろな視点から見附の良いところ、課題を知ることができてよかったです。機会があればまた参加したいです。	集中して勉強できる場所を増やしてほしいです!
10代	男性	中学生	自分の考えていたことを意見としてちゃんと出せたのでよかった。	勉強できる場所や遊び、買い物できるばしょなどみんなにとって「居場所」をもっと作ってほしい。
10代	女性	中学生	自分も市のイベントや祭りなどに積極的に参加し、協力したいと思った。	どんどん新しいものをつくるだけでなく、以前からある課題にも目を向けてほしいです。
10代	女性	中学生	1人1人いろいろないいけんがあるんだなと思いました。	がいとうを多くしてほしい

第2回 「産業の未来を考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
40代	男性	銀行	みんな見附が好き	30年先の自分、子ども、見附を考えた箱にこだわらないアイデアを!!
30代	男性	小売業	-	スタートアップ支援がテーマだった事もあり、是非地元の食をつなげる場の構築をお願いします。地元の商品を扱いたくとも各卸に委託するしかない。
30代	女性	美容師	見附のために考えている人がたくさんいて嬉しかったです。今後も盛り上がっていったらいいと思います。	狭い地域だからこそできる人と人とのつながりを大切にしてほしいです。
30代	男性	銀行員	異業種の方と交流できて良かった。	地域おこし協力隊の拡充
30代	男性	-	普段交流が無い方々とのディスカッションとなり、異なる目線での意見を聞く良い機会となりました。	子どもが将来見附に住みたいと思ってもらえるまちづくりをお願いします。
60代	男性	建設業	広い分野の方々の意見が聞けて良かったと思う。テーマが広い為、時間が足りなかったと思う。他の班の内容をもう少し掘り下げて聞きたかった	学校再編による、まちづくり。今以上のコンパクトシティを目指してほしい
40代	男性	会社役員	率直にとっても楽しかったです。普段と違い立場や業種や年齢が違う方との意見交換が無かったので新鮮でした。自分と違う見方も立場が違えば見えてきました。違う班との方とも話して見たかったです。また、機会があれば参加したいと思います	万人受けする名物を作ってみませんか。美味しいものは皆んな情報を探して手に入れたり、その土地に行ったりします。そして、町の評価を上げてくれると思います。今あるものから進めてみてはどうでしょう。人手が足りなければオーナー制で資金を募って人手を雇ったり、オーナー自身が手伝って農産物を一部もらったり、都市の子どもや家族には良い経験と実益になるのでは。その運営やPR、マッチング、実働の手助けを行政ができれば良いのでは。素人考えですいません。風合戦やイベントで普段コミュニケーションが取れない人が参加してもらえる環境ができれば良いなと思っていますが、何か良いアイデアがありましたら逆に教えて頂きたいです。
40代	男性	建設業	思いの外ふわっとした議論ではあったが、市政の参考になれば良いと思います。もっと具体的なディベートを行うのも参考になると思います。	農業の話題が上がったことに興味が湧きました。昨今「令和の米騒動」問題がありましたので他人事ではないなと思いました。中山間地を抱える見附市でも耕作放棄されたような農地が少なくないように思えます。これも資源と捉えるなら、農地整備を行い耕作効率を上げたり、担い手を育てたりするのも発展の鍵になるのかも知れないと思いました。

第2回 「産業の未来を考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
50代	男性	会社員	わりと皆さん顔見知りの感じの方が多くていつも思うのですがこういった懇談会は初参加の人間は先に知っている人どうして会話とかされていると中々割って入って話はしずらくどこからともなく仲介が入ってようやく話せる場が多く見受けられます。ある程度時間が経てば皆さん話始めますが始めに会場に入ってから市役所の方が自分達の挨拶も大事とは思いますが場を作るやり方ももう少し考慮してもらえるといろんな場に参加しやすくなると思います。	市民もですけど市役所、職員の方にも見附市をどうしていきたいか今一度考えて市政に取り組んでもらえたらありがたいです。生活の為に金を稼ぐ目的はもちろんですがそれ以上に市役所職員になったからにはそれなりの責務もあると思います
50代	男性	自営業	ホームページを拝見し、今回初めて参加させていただきました。会場では他の参加者の多くが顔見知りのようで、やや閉鎖的な雰囲気を感じました。また、関係者の方が特定の参加者と個別に挨拶されていたことにより、初参加者としては少し距離を感じ、発言しづらい場面もありました。今後、より開かれた雰囲気になると、初めての参加者も安心して発言できる場になると思います	市民・関係者ともに、田舎特有の閉鎖的な雰囲気を少しずつ変えていく努力が必要だと感じています。
30代	女性	会社員	見附市がもともと持っているもの(山・田・畑・立地など)の特性を生かしなが、作り上げてきたもの(商店街・工業団地など)について、「そもそも」から考えるきっかけになり、とても有意義な時間となりました。参加後からほかの地域に対しても見え方が変わりました。勇気を出して参加してみてもよかったです。ありがとうございました。	このような機会がありますと、同じモチベーションを持った方々とお話することができ、共同で新たに取り組みを始めてみようという話になります。とても有難い貴重な時間ですので、今後も実施していただけると嬉しいです。

第3回 「子育ての未来を考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
40代	女性	保育教諭	色んな方の色んなお考えをきくことができとても勉強になりました。ありがとうございました。	市街と新潟地区(コミュニティバスが通ってなく市の施設がほとんどない)では格差が激しく、子どもたちの経験格差も大きいと思います。「子育てするなら見附」を「すべての子どもたちに平等に」していただければと切に願います。夏休みなど公民館を小学生の居場所として開放していただければと思います。小4以上でも放課後児童クラブに入れていただけるのが一番ありがたいです。コミュニティワゴン毎日ではなくて良いのでは是非運行していただければ。
40代	男性	会社員	よかった	-
30代	女性	保育士	いろんな方の声が聞けて勉強になりました	産前・産後のサポートの充実 通学路の整備
40代	女性	主婦	子育て世代の集まりだったのでママが多いのかなと思いましたが、幅広い方々が集まり、話の視点が広くて楽しく参加させていただきました。地域のコミュニティの活用ができるのは新しい視点でした！	-
40代	女性	接客業	もっと参加しようと思いました。	-
50代	女性	フリーランス	小さな町見附市と思っていたが、思った以上に「地域差」があることがわかりました。市民団体もNPOも有効に活用して格差を感じないようにしたい。	ボランティアを活用することと任せっぱなしは違うことを分かってほしい。協力・連携作りを進めたいです。
30代	男性	会社役員	話がまとまりきらずで終わってるグループがいくつもあり時間配分含めて検討の余地があると感じました。	税金をうまく使ってほしい。商店街を活性化出来るようにしてほしい
50代	男性	公務員	いろいろな意見が聞けたのは良かった。子育てしている女性の意見は疎かったので特に参考になった。	施設総量は増やせない中で、施設の集約化をかけながら、どうやり繰りしていくかを考える必要がある。また見附市に人を呼び込むにも、住宅地を広げるには都市計画上の制約があるので、先進地である鶴岡市の例をもとに「まちなか居住」の仕掛けを行う必要がある。
40代	女性	自営・事務	色々なお話し聞かせて頂き、見附について知らない事が沢山あるなど感じました。その中でも知ってる人は知ってるんだなと思い刺激になりました。この機会に自分の住んでいる地域の事、ボランティア等の事を子供達や自分のこの先の為にも意識的に調べてみようと思いました。	国道境に今町と見附の境界みたいなものを緩和する策が欲しい。

第3回 「子育ての未来を考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
40代	女性	薬剤師	行政に求めてばかりだったけれど、「求めるより、任せるより、関わろう」には目からウロコでした もっと、もっと関わってよりよい見附にしていきたいと思いました	・子どもたちが幸せに18歳までを過ごし、大人になったときに自身の子供にも同じ体験をさせたいと思って帰ってきてくれる、そんな環境を作してほしい ・子供専用デマンドタクシー運行・Chromebookからルート検索してコミバスに子供だけで乗れるようなアプリの開発。現状、乗り方がわからず無料券が生かしきれていない（○時に□□に行くには■バス停に○時に来る○ルート of バスに乗る）バス停の場所も道のどちら側なのかわかるような地図がついているとよい ・見附駅へのアクセス向上（通勤、通学時間帯は巡回バスではなく、地域発見附駅行きのバス、乗合タクシーが出ると進路選択が広がるし、環境にもよく、見附駅前の送迎混雑も緩和する）
30代	女性	看護師	とても緊張して参加しましたが、同じグループは子どもが同年代で、考えることが同じ様で話しやすかったです。放課後児童クラブや部活の話など、今の自分の子どもの年では思い付かない問題点見えて勉強になりました。また、見附市長さんのお話を近くで聞く機会もあり無かったので新鮮でした。	行政にお願いするだけではなく、自分たちが主体で考える…。今まで考えたこともなく目から鱗でした。人が集まるイベント、場所があると嬉しいです。積極的に参加し、SNSや職場、友達にアピールしていきたいです。
40代	男性	製造	ファシリテーターの進行で意見集約時に偏りがでると感じました。市として、どういった意見が欲しいのかを纏め、ファシリテーターの進行の統一化を図った方が良いと思いました。	人口減少が進んでいく事を前提に、優先順位を考えメリハリのある予算組をして欲しいです。あれもして、これもしてというのは理想ですが、中途半端になり効果が薄いという事にならないようにして頂きたい。
50代	女性	会社員	黙っていては、何も伝わらない。他の人の気付きにもなったようなので、参加した意味があったと思う	地元企業への就職支援
40代	男性	建設業	普段感じていたことが他の方の言葉により、実感に繋がった様に感じ、参加して良かったと思いました。この少ない人数でも子供の遊び場の不足感や交通の不便さへの解決を求める声が多かったことに驚きました。	地域でもコミュニティ活動等でイベントなど子供の遊べる場を提供していますが、スタッフも少なく苦戦をしています。各地域で活動できるような専任サポートチームやイベント開催のマニュアルやガイドラインなどがあれば、コミュニティの負担も減るかと思います。
50代	男性	会社員	様々な業種、性別、年齢の方々と話が出来て有意義な時間を過ごすことが出来ました。自分も4人の子供を育てましたが、2人は、見附市外に住んでいます。定年退職後、自分に出来ることを考えこの町に必要とされる人になりたいと感じました。けして、見返りを求めず、困っている人に少しでも助けてあげる、そして、ありがとうが言える、言ってあげる、そんな素敵な町にしたいと感じました。	人口を増やすのは、難しいと思われますが、このまま減少させないためのプログラム、あるいは、子供達に、今回のような懇談会を開いて、幅広い層の方々から意見を聞ける場所を作ってほしいと思いました。

第3回 「子育ての未来を考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
50代	女性	営業職・会社員	子育て未来のテーマでありましたがそれぞれの課題別に懇談できると良いと思いました。	懇談会などでの意見が活かされた取り組みをしてほしいです。
30代	女性	介護福祉士	初めて地域の懇談会に参加させていただきました。2時間があっという間で、とても楽しいディスカッションでした。9ヶ月の息子も一緒だったので、保育士さんまで手配してくださり、とても安心しました。ありがとうございました。長岡市から移住してきたのですが、見附市はとても住みやすい良い地域だと思っています。これからも、積極的に地域活動等に参加して、良い街づくりに微力ながらも力添え出来たらよいと思っています。	商店街の路駐が多く、徐行していますが、若干危険性も感じるので、商店街にアクセス出来るような無料の駐車場があると有難いです。商店街には行きたいお店もたくさんあるので

第4回 「健幸のみらいを考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
80代	男性	自由業	今迄考えていたことをいっぱい身近に感じました。	後継者が生きがいを持って後を継ぎ又、次へバトンを渡していくそれが夢です。
-	女性	農業	見附市はコンパクトな町で意見交換がしやすいと思いました。	できれば補助金等
70代	男性	アルバイト	自分が考えていた事を同じグループの方も考えていて良かったと思いました。	時代に必要な産業(食品でもOK)長く続く産業を育ててほしいと思います。
70代	男性	なし	活発であった。時間が不足であったかな？	PR不足
60代	男性	会社員 (パート)	同世代の方々が多かったせいか、感性や今までの経験で共有することがあった。皆さんが次世代への引継ぎに悩んでいることが参考になった。	見附市の良い所、特色のアピールをもっと活発に取り組んでほしい。内部ではなく、市外、県外へ対して!!
70代	女性	講師	改めて自然環境がすばらしいということに気付かされた。	見附市のPR。その内容を考えていかなければならない。
60代	女性	無職	コミュニティの活動が、今後の見附を支えて行くと感じました。コミュニティと学校との関わりをもっと緊密に出来たら良いと思います。また、次の世代にいかに引き継げるかが課題と考えます。	繊維の町だった見附は、工業団地の企業群に主力が移った為、もっと積極的にこちらをアピールすべきと考える。
70代	女性	主婦	まちづくりは、役所がやる、ではなく この様な話し合いもあって良いと思いました。	中部工業団地は、私個人としては、見附市だけど、別の町の感じです。もう少し市との一体感が出る取組みが欲しい。
50代	女性	主婦	参加者が町の方が多い印象。グループ内で私以外は、以前から市民活動等で市と関わりがある意識の高い方達でした。初めて懇談会に参加した私は、その熱気に圧倒されました。参加してみて、このようは機会が良いと思ったので、参加したいと思える広報、見附市のみらいもそうですが、PRが大切だと感じました。	見附市に限らずの事ですが、中心部だけではなく全体が住みよい環境を持続できるようにしてほしいです。懇談会でも出ましたが、外からの人材だけではなく、市内にも優秀な方はいらっしゃると思うのでその活用。
70代 以上	男性	無	日中に各地域からの参加者で開催願います。	IT企業の誘致

第5回 「見附の未来を考える」

年齢	性別	職業又は学校	感想	見附市に考えてほしいこと
70代	男性	無職	市の考え方、計画が知れてよかった	積極的な場の提供を考えてほしい
50代	女性	主婦	市長はじめ、市役所の方達が市に対して真剣に向き合ってくれている事が心強いです。	-
50代	男性	会社員	市長の丁寧な説明が良かったです。市の職員の方も誠実で良かったです。	儲かる市にしてほしい。お金、人が集まるとサービスは付いてくると思います。
50代	男性	会社員	色々な意見が聞けて楽しかったです。	-
60代	女性	看護師	個々の意見が様々あることに驚いた。	役所は敷居が高いと思っていたので、今回のように顔を見れる機会を作ってください。
60代	男性	会社役員	自由な意見が聞けて良かった。	官民の協力体制を充実してほしい。
70代	男性	無職	多様な意見に触れてgood！でした。	健康・安全・安心が第一かと。宜しくお願いします。
30代	女性	営業職	年齢層によって考えている課題が異なっていてとても良い刺激になりました。	今回のような会をもっと広げていただくと、たくさんの色んな意見が出て面白いのかなと思いました。無作為懇談会とても良かったです。ありがとうございます。
60代	女性	無職	思いの丈を話せたと思います。グループの方と色んな意見が話し合えて良かった。	これからも住みやすい市を望みます。
40代	男性	-	活発な意見が交わされていた。今後の方向性を決める会議に出られたことをとても嬉しく思います。また出たいと思わせてくれる会でした。	安心して利用できるベビーシッターを考えてもらえると、人口減少対策にもなるのではないかと考えました
60代	女性	無職	色々な世代のお話、市長の話が聞く事が出来て良かったです。大体、皆さんが同じような事を思っておられる様に感じました。	見附の特徴をいかした、住みたい町を市民みんなで考えて、活気のある町になるように考えて頂きたいとおもいます。
50代	女性	アルバイト	市長にお話しする機会を与えて下さりありがとうございました。なかなかない機会だと思いついて出席いたしました、またいろんな方とお話しをする事が出来た経験なりありがとうございました。障がいがあるのでどうかと内心思いましたがみなさんがあたたかくて私自身出席してよかったと感じました。	障害者が住みやすくなおかつ仕事A型事業所などの整備。若者の結婚、希望した人数の子供を持ちやすくする環境作りが見附市に考えてほしい事です。